

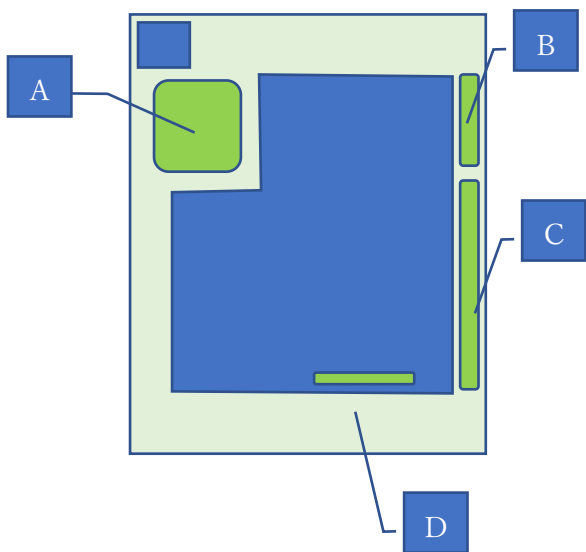
1. オキザリス 状況（公民館）



5/3 玄関前

2. 花の会活動状況

ミックスフラワー種まき B地点の敬老室横当たり 4/22（土）、4/25（火）



※ミックスフラワーの内容

① イベリス（1年草）



イベリア半島～地中海沿岸が原産地、アブラナ科の植物。

花びらは4枚ついていますが外側2枚が大きく内側2枚が小さくなっているのが特徴。1年草と多年草があります。

草丈：20～40 cm

開花期：4～6月

花色：白、赤、ピンク、紫

② ヤグルマソウ矮性（1年草）



こいのぼりのさおのさきにつく“矢車”に花の形が似ている所からこの名前がつけられた矢車草（ヤグルマソウ）はヨーロッパ原産で、日本には明治時代に渡来し花壇や切花用の草花として栽培されてきました。色彩豊かで、草勢も強く大株で、茎を数十本伸ばし、先端に6～8cmの花を1輪ずつつけます。

花丈：30～60cm

開花期：3～5月下旬

花の色：青、紫、赤、桃、白色、絞り

③ カリフォルニアポピー（1年草）



ハナビシソウ（カリフォルニアポピー）のオリジナル品種は発色のよいオレンジ系ですが、最近はオレンジ系各種、アイボリー、オフホワイト、アプリコット、赤、ピンクなど豊富な花色があるとともに、一重の他、八重咲種など、花の咲き方も色々で毎年のように新品种が登場しています。

花丈：40～60cm

開花期：4月～6月

花の色：オレンジ系各種、アイボリー、オフホワイト、アプリコット、赤、ピンク、複色

④ ケイランサス（1年草）



ネメシア(ケイランサス種)は、黄色い膨らみのある下唇弁に4本の白色の角をはやしただかのような個性的な花を咲かせる一年草です。

開花時期は晩春から秋、4裂した白色の上唇弁と黄色の下唇弁、中央に紫色の斑が入る事もある花を穂状(総状花序)に咲かせます。

花丈：約40cm

開花期：5月～9月

花の色：黄色、紫色、白色



⑤ トコナデシコ（宿根草）



トコナデシコは、カーネーションの開発の際に親として用いられた常緑多年草です。よく目にするものは淡紅色の花びらですが、白色や赤色などの種類もあります。つけ根付近が赤く、赤い輪のような模様が特徴的です。バニラに似た香りを放ちます。

花丈：30～60 cm

開花期：春, 夏, 秋

花の色：緑、グレー、シルバー、青

⑥ アフリカキンセンカ（1年草）



アフリカキンセンカは鮮やかな黄色やオレンジの花が人気の一年草です。アフリカキンセンカ属とオステオスペルマム属の植物は姿がよく似ていて、品種改良を目的とした交配も積極的に行われているため、厳密な分類がやや難しくなっています。花びらは雨に濡れるとしおれてしまうため、雨が降ることが分かっている場合は切り花にして室内で楽しむのもよいでしょう。

花丈：約 30 cm

開花期：春, 夏, 秋

花の色：黄色～オレンジ色、白やピンク色の花色品種もあり

⑦ ゴテチア矮性（1年草）



ゴテチアは、ゴテチア・アモエナ (*Godetia amoena*) とゴテチア・グランディフローラ (*G. grandiflora*) との交雑により、多くの園芸品種が生まれています。高性品種から矮性品種、大輪や八重咲き品種があります。サテンのような光沢と紙細工のようなひらひらとした花弁が花壇に華やぎをもたらします。華やかな花色が多いですが、透明感があるので、上品な印象です。

花丈：約 30 cm

開花期：春, 夏, 秋

花の色：黄色～オレンジ色、白やピンク色の花色品種もあり

⑧ スイートアリッサム（1年草）



スイートアリッサムは白色の小花が集まって咲き、ほんのりと甘い香りがあります。本来は多年草ですが、高温多湿に弱い性質のため、一般に、日本では一年草 (*Lobularia maritima*、実生系) として扱われています。近年では、暑さと寒さに強く、生育旺盛で一年中開花する多年草タイプ (*Lobularia hybrida*、栄養系) も登場しています。枝が横へ広がり、カーペット状になるので、花壇の前列や縁取りに植えるとよいでしょう。

花丈：10～15cm

開花期：2月下旬～6月上旬、9月下旬～12月上旬

花の色：白, 赤, ピンク, オレンジ, 紫など

⑨ セラスチウム（宿根草）



セラスチウムは、イタリア、シチリア島に分布するナデシコ科ミミナグサ属の常緑性多年草です。分布域は山地に通じる平野部を中心に広がっており、道路脇や鉄道沿い、空地などに自生しています。マット状に広がる性質と愛らしい花からヨーロッパでは広く栽培されており、各地で野生化したものが帰化植物として定着しています。

日本には観賞用として明治時代に渡来していますが、高温多湿の環境が苦手な性質のため、暖地では一年草として扱うことが多い植物です。

花丈：10～20 cm

開花期：4月～6月

花の色：白

⑩ ツキミソウ矮性（宿根草）



「月見草」と呼ばれているものには、マツヨイグサ(*Oenothera stricta*)、コマツヨイグサ (*O. laciniata*)、アレチマツヨイグサ (*O. parviflora*)、オオマツヨイグサ (*O. glazioviana*) などがあります。マツヨイグサ属は、北米から南米が原産の植物です。多くは日当たりのよい草原や荒地に生育し、一日花を咲かせる一・二年草か多年草です。

花丈：15～30cm

開花期：5月～9月

花の色：黄,白,ピンク

⑪ ハルシャギク矮性



ハルシャギク（春車菊、学名：*Coreopsis tinctoria*）は、北米中西部原産で、キク科ハルシャギク属の一年草の帰化植物です。蛇の目模様に見えることから、別名でジャノメギク（蛇目菊）やジャノメソウ（蛇目草）とも呼ばれます。代表的な品種は花弁先端が黄色で、内側が朱赤です。日本には明治初期に渡来しました。

花丈：30 cm 程

開花期：6月～8月

花の色：黄

⑫ コマチソウ矮性



コマチソウ（小町草）は、ナデシコ科の秋まき一年草です。シレネ・アルメリアというのが学名で、標準和名はムシトリナデシコです。しかし、ナデシコ属ではなく、ましてや食虫植物でもないことから、園芸上はコマチソウとも呼ばれます。一重のコマチソウもそれなりに美しいですが、玉咲小町草は、濃桃色の小さな花が数十輪集まって球状に咲きますので、比較にならないほど美しく、さほど名前負けしていないように思います。

花丈：30 cm 程

開花期：4月～5月

花の色：濃桃色のほか白花

⑬ ビオラ（1年草）



ビオラは開花期間がとても長く、適切な手入れをすれば次々と花が咲くので、初心者でも育てやすい春の一年草です。品種や色数が豊富で、毎年新品種が作りだされています。最近では個人育種家の方々の交配ビオラも人気です。ビオラの花径は小輪で2cm～3cm、中輪で3cm～4cm。パンジーと比べて小ぶりなのが特徴です。

花丈：15cm～20cm

開花期：10月～5月

花の色：紫、白、ピンク、オレンジ、黄色、アプリコット色、黒、茶、赤、複色など

⑭ ヒメナデシコ（宿根草）



ヨーロッパに広く分布しています。乾燥した砂質の草地に生え、高さは20～40センチになります。葉は狭い倒披針形で、茎葉は針形です。初夏から秋にかけて花茎を伸ばし、紫色の花を咲かせます。早くから改良が進められ、園芸品種も多く、欧米ではポピュラーな花となっています。

花丈：20cm～40cm

開花期：初夏～秋

花の色：紫

⑮ リナキンギョソウ（1年草）



リナリアとして園芸的に親しまれるのは、一年草のヒメキンギョソウと宿根性のリナリアで、パステルカラーの花色とすらりとした花穂の風に揺れる姿が優しい印象です。キンギョソウよりも頼りない草姿に見えますが、ワイルドフラワーのミックス種子をまくと、リナリアが一番よく出るくらい丈夫です。茎は倒れやすいですが、倒れても、その茎からわき芽が伸びて花がたくさん咲きます。数株を群植するとボリューム感があり、またほかの植物との相性がよく寄せ植えにも適します。

花丈：30cm程

開花期：月中旬～7月上旬、12月上～中旬

花の色：赤、白、ピンク、黄、紫、複色